

- がん患者のケアについてお伺いします。下記の項目について、「正しい」か「間違っている」または「わからない」のいずれかに、それぞれひとつ○をおつけください。赤字が正解です。

正しい	間違っている	分からない
-----	--------	-------

【理念】

・ 緩和ケアの対象は、根治的治療法のない患者のみである	1	2	3
・ 緩和ケアは、がんに対する治療と一緒にには行わない	1	2	3

【疼痛・オピオイド】

・ 疼痛治療の目標の一つは、夜ぐっすりと眠れるようになることである	1	2	3
・ がん性疼痛が軽度の場合、医療用麻薬よりもペンタゾシン（ペンタジン®・ソセゴン®）を積極的に使用すべきである	1	2	3
・ 医療用麻薬を使用するようになると、非ステロイド性抗炎症鎮痛薬（NSAIDs）は同時に使用しない	1	2	3
・ 医療用麻薬投与中にペンタゾシン（ペンタジン®・ソセゴン®）やブプレノルフィン（レペタン®）を投与すると、医療用麻薬の効果を減弱することがある	1	2	3
・ 医療用麻薬を長期間使用すると、薬物中毒がしばしば生じる	1	2	3
・ 医療用麻薬の使用は、患者の生命予後に影響しない	1	2	3

【呼吸困難】

・ がん患者の呼吸困難はモルヒネでやわらげることができる	1	2	3
・ 疼痛に対して医療用麻薬を定期的を使用している場合、呼吸困難を緩和するために医療用麻薬を追加すると、呼吸抑制が起こりやすい	1	2	3
・ 患者の息苦しさ酸素飽和度は比例する	1	2	3
・ 死亡直前に痰がのどもとでゴロゴロいうとき、抗コリン薬【臭化水素酸スコポラミン（ハイスコ®）や臭化ブチルスコポラミン（ブスコパン®）】が有効である（全て正答として扱ってください）	1	2	3

【せん妄】

・ 死亡直前では、電解質異常や脱水を補正しないほうが、苦痛が少なくなることがある	1	2	3
・ がん患者のせん妄の改善には、抗精神病薬が有効なことが多い	1	2	3
・ 死亡直前に苦痛をやわらげることができる方法が、鎮静（持続的な鎮静薬の投与）以外にはない患者がいる	1	2	3
・ 終末期がん患者のせん妄はモルヒネが単独の原因となっていることが多い	1	2	3

【消化器症状】

・ がんの終末期では、腫瘍によるカロリー消費が増えるため、早期がんより多いカロリーを必要とする	1	2	3
・ 末梢静脈が確保できなくなった場合、選択できる輸液経路は中心静脈だけである	1	2	3
・ ステロイドはがん患者の食欲不振を緩和する	1	2	3
・ 死亡が近い時期にある患者の口渇は、輸液でやわらげることができない	1	2	3

